

< 一般 >



「三つのまほうのおくりもの」

文 ジェームズ・リオードン
絵 エロール・ル・カイン
訳 中川千尋（ほるぷ出版）

弟の貧乏イワンはおひとよし。風にももらった魔法のテーブルかけも、太陽にももらった金貨を出すヤギも、兄のずるがしこい金持ちイワンに取られてしまいます。でも冬じいさんにももらった袋を使ってみたら…。

絵はイメージの魔術師と呼ばれるル・カインが描いています。（T.M）



「きみへのおくりもの」

作・刀根里衣（NHK出版）

全編、ブルーに包まれている絵。その中の黒と白の2匹の猫。印象的に使われている赤。ボローニャ国際絵本原画展2年連続入賞、国際イラストレーション賞受賞の作者が送るロマンチックな作品です。（K.Y）

2018. 4作成
紹介文後の（ ）は執筆です。

子どもに読んであげたいこの一冊

～プレゼント～

秋田県子ども読書支援センター支援員お薦めの本

< およそ0～5歳 >

「はりねずみのはりこ」

さく・え なかやみわ
（福音館書店）



はりこのおばあさんは洋服作りの名人です。お客さんのようにおしゃれを試みたいはりこですが、うまくいきません。気落ちしているはりこに、おばあさんがプレゼントしてくれたぴったりのものとは？（W.J）

「ぼうし」

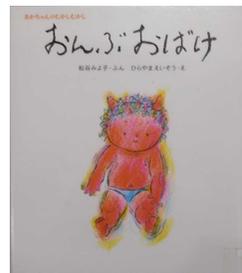
作・長新太（のら書店）



ぼうしがひとつ。いろんなどうぶつがかぶってみると、小さすぎたり大きすぎたりしているようです。どうぶつたちは、どんなかぶりかたをしているのかな。（Y.Y）

「おんぶおばけ」

ぶん・松谷みよ子
え・ひらやまえいそう
（童心社）



子どもの大好きなおんぶ。だけど、おばけはこわい。「おんぶおばけ」ってなにか？少しこわいけど見てみたいね。（S.S）

< およそ小学校低学年～中学年 >

「まっていたてがみ」

作 セルジオ・ルツィア
訳・福本友美子（光村教育図書）

小さな村のゆうびんやさんレオ。村のみんなに毎日ゆうびんを届けています。でも残念なことにレオにはまだ一度も手紙がはいたつされたことがなかったのです。

そんなある日、「ピピ・・・」。 (I.K)



「おかえし」

さく・村山桂子 え・織茂恭子
(福音館書店)

たぬきの家のとなりへ引っ越してきたきつねのおくさんは、イチゴを持っておとなりへごあいさつ。そのお礼にたぬきのおくさんはたけのこを持ってお返しに。またそのお返しにお返しが。そしてとうとう…。(W.J)



「かあさんねずみのおくりもの」

ぶん・谷真介 え・赤坂三好
(小峰書店)

こねずみたちが、雪の野原で手ぶくろをひろってきて遊んでいます。そのうち、取り合いをしているのを見たかあさんねずみは、てぶくろをじょきじょき。おくりものを作りはじめました。それは…。(T.T)



< およそ小学校高学年～中学生 >

「ねこのなまえ」

さく・いとうひろし
(徳間書店)

のらねこから名前をつけてほしいと頼まれたさっちゃんのおはなしです。

「それじゃあ ポチ。」

「それは犬の名前でしょ。」

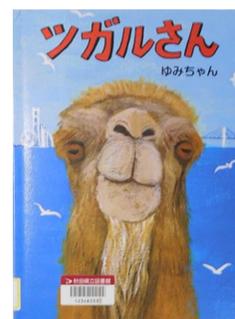
さて、さっちゃんはどんな名前をつけてくれたかな？ (K.Y)



「ツガルさん」

作・ゆみちゃん
(神奈川新聞社)

青森県の観光牧場で生まれたフタコブラクダのツガルさん。横浜の動物園に引き取られて人気者になりました。ツガルさんの一生を描いた実話です。(O.K)



「3日ずつのおくりもの」

作 レミ・クルジョン
訳・こだましおり
(文溪堂)

「寿命を3日余分にほしい」と願ったので、毎年誕生日に大勢から寿命をプレゼントされた、うさぎのホープじいさんのお話です。それからじいさんはずっと長生きしたのですが…。 (O.K)

